

取組一覧表(2021年度)

大作戦1 わがまち発信大作戦

作戦1 いろいろ発信作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	トップセールス	情報発信力のある市長等があらゆる機会を捉えて、豊川市の魅力を市内外へ売り込む。	秘書課	継続		・新型コロナウイルス感染症の影響により、PR機会は減少したものの、市長がマリッジカウンセラーの撮影現場へ伺い、市の魅力をPRした。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。
2	ふるさと観光大使の任命	観光協会が平成21年度からZIP-FMの小林拓一郎氏を観光大使に起用しており、豊川市の魅力を発信してもらう。	商工観光課	継続		【観光基本計画:「観光大使によるPR活動」として継続実施】 ・観光協会と連携し、とよかわ観光大使であるラジオDJの小林拓一郎氏による自身の番組などで豊川市の魅力を広く発信した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・知名度がある人物や発信力のある人物など、広報大使同様、観光大使を増やす必要がある。
3	マスコットキャラクターの活用	豊川市宣伝部長いなりん、特命課長いなりコ、特命係長イナリソが、市内外のイベント等に参加したり、チラシなどにイラストを掲載したりして、知名度を活かした情報発信を行う。	秘書課、商工観光課、下水管理課、議事課	継続		・市内外でのイベントや、交通安全啓発など、さまざまな場面に登場し、市の魅力や重要な情報の発信に貢献した。 ・シティセールスグッズなどにイラストを掲載し、PRした。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどのイベントが中止となってしまったが、県主催による名古屋市内のイオンモールでの観光展への参加、秘書課、農務課、観光協会と連携し、東京日本橋でのシティセールスイベントを実施することができた。【商工観光課】 ・下水道への理解を深めていただくため、いなりんをデザインしたマンホールふたのコレクションカード「いなりんマンホールカード」を作成・配布した。【下水管理課】 ・いなりん、イナリソ、いなりコのシールを貼付した紙コップ・コースターを作成し、会議等ですわпон茶の提供の際に使用してPRすることを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、視察の受け入れや会議の開催等の実績がなく、使用する機会がなかった。【議事課】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議場等の傍聴席において、間隔を空けて着席するよう促すために座席に設置する貼り紙に、いなりん、イナリソ、いなりコのイラストを用いた。【議事課】
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの事業実施となると思われるが、可能な限り実施されるイベント等を活用していく。行政の活用方法について、観光協会のPR戦略と整合を図る必要がある。【商工観光課】 ・予定していたイラスト付きの紙コップ・コースターを使用する機会がなかったが、貼り紙へのイラスト掲載により、臨機応変な取り組みができたことと評価する。【議事課】
4	県外でのPR強化	トップセールス、ホームページ、新聞広告、雑誌、ラジオ、テレビ、特産品販売などにより、県外のターゲットを意識したプロモーション活動を増加充実させる。	秘書課、商工観光課、農務課	継続		・東京日本橋のイベントスペースへ出展し、とよかわブランドを中心に豊川産の農産物をPR販売した。【農務課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントが中止となり実施できなかった。【商工観光課】 ・メディアリレーション事業において、旅行雑誌「ことりっづ」へとよかわバラを中心とした豊川市の紹介記事を掲載した(令和3年9月全国の書店にて販売 80,000部)。またその記事を活用した抜き刷り冊子を作成し、全国の若い女性を会員に持つ通販サイトを活用して、通販購入女性10,000名に冊子の配架を行い、PR強化を図った。【商工観光課】
				継続		・新型コロナ感染症の影響を考慮しながらできる限りの取り組みができたことと評価する。引き続き、豊川産農産物とその加工品等について首都圏へのプロモーションに取り組む。
5	特産品ギフトカタログの作成	地域の特産品を選定しギフトカタログとしてまとめ、土産や贈答などのニーズを掘り起こしたりネット販売に対応したりして、特産品のブランド力を高める。	農務課、商工観光課	継続		・「とよかわブランド」に認定された素材等を活用した製品等の販路開拓事業への補助事業を行った。 ・こだわり農産物及びこだわり農産物タイアップ店のPRチラシを新聞折り込みにてPRすることができた。【農務課】 ・観光協会のブランドプロジェクト事業との連携及び支援を行い、新たに2つの農産物(音羽米、いちご)がブランド認定予定。【商工観光課】
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら取り組む必要がある。 ・ブランドプロジェクト事業との連携の中で、特産品ギフトカタログを含めた重点PR方法などの検討が必要である。
6	旅行会社と連携してとよかわ堪能ツアーを実施	豊川市を行程に組み込んだツアーを提供し、豊川市を楽しんでもらう。	商工観光課	継続		【観光基本計画:「東三河広域観光協議会との協働、愛知県観光協会との協働」として継続実施】 ・ブランドプロジェクト事業との連携を継続しつつ、農務課、とよかわ大葉加工品販売促進ミーティングとも連携しながら、とよかわ大葉の加工品のセール販売を目指した商品紹介などのスキームの検討、物産展への出展の調整などPR方法などの検討も進めていく。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・ツアーの基になる素材が魅力ある内容にならないと、旅行会社との連携は難しい。

取組一覧表(2021年度)

7	とよかわ応援寄附制度に関する情報発信	返礼品の拡充を図り、とよかわ応援寄附制度について全国に情報発信する。	企画政策課	継続	・返礼品の種類を大幅に増やしたことで、全国に配送される豊川市地場産品の数量も大きく向上した。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・返礼品の更なる拡充を図り、引き続き情報発信に努める。
8	広報とよかわ「モノ・ヒト・シゴト」の作成	市内にある「オンリーワン・ナンバーワン製品・技術」を、その製造・開発などに携わる人のインタビューを通して紹介し、市民に広く周知するとともに、第6次総合計画に掲げる定住を促進する。	秘書課	継続	・平成31年4月号から掲載を開始。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。
9	企業誘致トップセールス	企業誘致に向けて、市長が各企業へトップセールスを随時実施する。	企業立地推進課	継続	・企業用地のPRのため、首都圏や関西圏で開催される県主催セミナーでは、参加企業等に対して市長プレゼンを実施し、メッセナゴヤ2021でも、市長自ら出展企業を訪問した。
				継続	・計画どおりに実施できたと評価する。 ・現行のセミナーや展示会以外にも、トップセールスが出来る機会を考えていく必要がある。
10	観光協会が行う撮影等支援事業に対する補助を行う	映画撮影等において豊川市の知名度向上、観光振興及び地域の活性化を図り、とよかわ広報大使が主演し本市をメインロケ地とする「マリッジカウンセラー」の撮影等支援するため、豊川市観光協会が行う撮影等支援事業に対して補助を行う	商工観光課	実施(取組開始)	ロケ期間中の市内宿泊、市内飲食店等を利用したスタッフ用弁当の手配、その他撮影に向けた準備調整等を観光協会と連携して実施した。
				完了	令和4年8月ごろ愛知県内にて完成披露試写会予定
11	東京オリンピック・パラリンピックの応援	東京2020オリンピック聖火リレーとパラリンピック聖火フェスティバル「とよかわの火」採火式を実施し、東京2020オリンピック、東京2020パラリンピックの開催によるスポーツ意識向上を図る。	スポーツ課	完了	豊川稲荷境内から豊川市陸上競技場までの区間でオリンピック聖火リレーを実施した。また、パラリンピック聖火フェスティバル「とよかわの火」採火式を実施した。
				完了	

作戦2 よく見える発信作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	カラー、デザインの統一	効果的な情報発信のため、統一したカラーやデザインを積極的に用いる。	秘書課	継続		・市長室への来訪、各種報告会、イベントなどでインタビューボードを活用した。 ・名刺や印刷物による活用を推進した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・効果的なカラーやデザインについて、さらなる検討と調整が必要である。
2	市役所全職員の広報パーソナリゼーション	広報の必要性や重要性を理解して情報発信できる職員を育成する。	秘書課、人事課	継続		・「豊川市人財育成基本方針」(平成31年4月策定)において、豊川市職員としてありたい姿“3C”の一つとして、“City Sales Person(シティセールスパーソン)”を位置付け、達成に向けた取組を実施した。 ・クールビズ期間中(5月1日～9月30日)の毎週水曜日及び金曜日を「いなりのクールビズデー」と位置づけ、職員の「いなりんポロシャツ」の着用を推奨した。【人事課】
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントが中止となり実施できなかった。コロナ禍でも研修が行えるよう検討する必要がある【秘書課】
3	市ホームページの充実	アクセシビリティに配慮した分かりやすいホームページをつくり、行政情報の見える化を推進する。	秘書課	継続		・アクセシビリティへ配慮しながら、市ホームページの管理運用を行った。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・さらなる情報の充実やシティセールスにつながる情報の更新、アクセシビリティの向上が必要である。
4	シティセールスウェブサイトの整理	ホームページにおいてシティセールス関係のページを充実させ、旬な情報を多くの方に届ける。	秘書課	継続		・豊川市定住促進サイト「CITY AND PEOPLE ひとのわ、とよかわ。」を開設。移住・定住に関する支援一覧の他、豊川市で暮らす人、ゆかりのある人のインタビュー記事15本など、人々の声を通じて豊川市の魅力を発信した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・より魅力的なページとなるよう、随時見直しを行うことが必要である。

取組一覧表(2021年度)

5	広報部門の機能強化	広報担当の知識、技術、情報コーディネートの能力向上を図り、効果的な情報発信を行う。	秘書課	継続	・広報戦略プランやパブリシティガイドの運用を行い、広報機能強化に努めた。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・広報担当者のコーディネート能力などの向上を図る必要がある。
6	多様な広報媒体の活用	現在活用している広報媒体の効率的な運用とともに、新たな広報媒体の導入について研究し、情報を受け取る方を意識した情報発信を行う。	秘書課、 下水管理課	継続	・動画の積極的な活用に取り組んだ。【秘書課】 ・3つの市公式SNSについて、それぞれの特徴を生かした情報発信に取り組んだ。【秘書課】 ・豊川市下水道Facebookにて、市ホームページに掲載している下水道情報などを発信し普及活動の強化を図った。 【下水管理課】
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・広報大使制度をさらに活用する必要がある。 ・イベント等が減少した場合のSNS活用方法を検討する必要がある。 ・動画の効果的な活用を検討する必要がある。
7	市民公開型GISの活用	施設・地域情報、医療・福祉情報、道路、下水道情報など市民にとって有効な地図情報をインターネットにより広く配信する。	情報システム課	継続	・豊川市のホームページ内の情報に公開型GISの地図情報を併せて掲載することで、市民の利便性向上及び市役所外へのPRを図った。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・今後も市民にとって有益と考えられる地図情報を選別し、配信する必要がある。
8	PR動画の活用	豊川市の魅力をPRするための動画を活用し、多くの方に印象に残る情報発信を行う。	秘書課、 中央図書館	継続	・広報とよかわやSNSで動画を活用した。【秘書課】 ・ドームシアターで番組投影の前に地元のプロバスケットボールチームのPR映像を投影した。【中央図書館】
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・新たなプロモーション動画の作成、配信コンテンツの検討が必要である。【秘書課】 ・広報大使制度をさらに活用する必要がある。【秘書課】
9	図書館コラボ展示・コラボイベントの実施	中央図書館エントランスなどで、各課などの主要施策をPRする内容の企画展示を実施する。また、主催する講座や講演会などを図書館で実施し、併せて関連した図書の紹介を行う。	中央図書館	継続	・「バラ・薔薇・ばら」展をはじめ21課と、延べ41回の図書館コラボ展示を実施した。 ・「マイナンバーカードはお持ちですか？」と題したコラボイベントを実施した。
				継続	・コラボ展示・コラボイベントにより、各課の施策を図書館利用者に効果的にPRすることができた。また、展示について中央図書館のSNSを通して発信することで、さらに広く施策をPRすることができた。
10	市内公共交通情報の提供	市内バス路線(豊鉄バス・豊川市コミュニティバス)情報のICT化を行い、乗換検索アプリ等に掲載し、市内公共・観光施設へのアクセス情報を充実させる。	人権交通防犯課	継続	・令和3年10月に市内バス路線の見直しに伴い、データ更新を行い、オープンデータ化及び一部コンテンツプロバイダ(乗換検索アプリ提供事業者)へ掲載依頼を行った。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。

取組一覧表(2021年度)

大作戦2 わがまち大好き大作戦

作戦1 わがまち学ぼう 作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	「さくら」をキーワードにした市のPR	「さくら」にまつわる施設やイベントを活かして、わがまち豊川市のイメージを高める。	商工観光課、公園緑地課、文化振興課	継続		【観光基本計画:「桜のガイドマップの作成」として継続実施】 ・桜マップをイベント等にて配布【商工観光課】 ・観光協会と連携し、桜トンネル、佐奈川、音羽川、御津山、宝円寺、穴観音公園などの開花状況を、ホームページに掲載しPRを行った。【商工観光課】 ・豊川公園の再整備に伴い、桜トンネル適正管理のため、一部移植を行った。【公園緑地課】 ・桜ヶ丘公園の淡墨桜の開花状況をホームページに掲載し、周知を図った。また、桜をテーマとした展覧会を令和5年度に開催すべく、企画立案及び展示品の出陳交渉を行なった。【文化振興課】
						・計画どおり実施できたと評価する。 ・開花時期は毎年違いがあるが、効果的なPRを行うためにはタイミングが重要である。【商工観光課】
2	魅力再発見イベント	豊川市の魅力を多くの方に改めて知ってもらうためのイベントを開く。	商工観光課、生涯学習課、文化振興課	継続		【観光基本計画:「観光のまちとしての市民啓発」として継続実施】 ・第8回とよかわ観光ものしり検定、推奨観光ルートウォーキングを実施した。【商工観光課】 ・地域生涯学習講座において、地元企業と連携した講座や郷土の歴史を学ぶ歴史講座を実施した。【生涯学習課】 ・桜ヶ丘ミュージアムの常設展示室で郷土の歴史を紹介するとともに、郷土作家の作品を展示した。【文化振興課】 ・桜ヶ丘ミュージアムの市民ギャラリーで、地域のことを知り、地域への愛着(シビックプライド)を高めるための企画展を開催した(村田千秋展、村絵図へのいざない展等)。【文化振興課】
						・計画どおり実施できたと評価する。 ・推奨観光ルートウォーキングについて、観光客を含む参加者の嗜好の変化に合わせて魅力ある内容で開催することが重要である。【商工観光課】
3	特色あるプラネタリウムの活用	宇宙の知識を深めるプラネタリウム番組により、わがまちの魅力を際立たせていく。	中央図書館	継続		・ジオスペース館で、オーロラ映像を生かしたプラネタリウム番組を上映した。 ・地元プロバスケットボールチーム「三遠ネオフェニックス」のPR映像を投影した。 ・市内の全小中学校の4年生、市立と保育協会の全保育園、幼稚園、希望する私立保育園の年長を対象に学習投影を行った。 ・「むさしの会」によるファミリーコンサートや「星兄」によるプラネタリウム解説イベントのほか、外部講師による星空や天文現象の解説を行った。なお、星空コンサートは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
						・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となったイベントがあったが、概ね計画どおり実施できたと評価する。
4	わがまちの防災を学ぼう作戦	防災センターでのイベントを通じて、わがまちの安全について情報を発信する。	防災対策課	継続		・ファミリー防災講座、防災サマーフェスタ、防災ウィンターフェスタ、ジュニア防災リーダー養成講座を実施した。
						・計画どおり実施できたと評価する。

取組一覧表(2021年度)

作戦2 わがまち輪となろう作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	とよかわファンクラブの創設	豊川市のことに興味を持ち応援していただける方が集う場として組織し、自らまちの魅力を発信し、愛着や誇りを高められるようにする。	秘書課	検討・調整・準備		・制度について検討した。
					検討・調整・準備	・計画どおり実施できたと評価する。 ・推進するためには、担当部署の設置と人員確保が不可欠である。
2	市民提供の写真や動画の配信	市民が撮影した写真や動画を広報紙やホームページに掲載するなど、市民参加型の情報発信を行う。	秘書課	継続		・広報とよかわの写真掲載コーナー「みんなの写真館」で、市民などから、市の魅力が伝わる写真を公募した。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・「みんなの写真館」への応募が少ないため、公募方法などを見直す必要がある。 ・市民参加型の情報発信の新たな方法について検討する必要がある。	
3	おもてなし意識の醸成	豊川市に住んでいる人や訪れた人が感動するおもてなしの輪を広げる。	商工観光課	継続		【観光基本計画:「観光のまちとしての市民啓発」として継続実施】 ・観光協会が、豊川稲荷や御油のマツ並木、牛久保地区、砥鹿神社でボランティアガイドを配置し、観光案内を行った。
				継続	・コロナの影響が大きく、計画どおり実施できなかった。 ・観光まちづくりを担うボランティアは、市民向けの観光情報を提供する取り組みが重要である。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、過去のボランティア講座への参加者を活用するための場を創出するため、実践的な内容の講座の実施を継続していく。 ・ボランティアガイドは、他の観光名所の案内もできるような人材育成も必要である。	
4	e-モニター制度の実施	市民の意向を迅速に把握するためのコミュニケーションツールとして、電子メールなどを利用し、市政に関するアンケートを実施する。	秘書課	継続		・インターネットを利用したモニター制度「とよかわデジモニ」で、6回のアンケートを100人のモニターに対して実施した。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・新規の応募者を増やし、幅広い意見の収集が必要であるとする。	
5	観光の広域連携	東三河地域で連携することで、豊川市の魅力のみならず、広域的な魅力と合わせて発信し、県内外の多くの方の関心をひきつける。	商工観光課	継続		【観光基本計画:「東三河広域観光協議会との協働」として継続実施】 ・東三河広域観光協議会と連携してイオンモール岡崎、イオンモールナゴヤドーム前、イオンモール浜松市野でのイベントでPRを実施した。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・県外への情報発信や誘客・物産活動は豊川市単独では難しいため、広域連携での取組も継続する必要がある。 ・東三河県庁、東三河広域連合、豊川市が実施するPR事業に関し、相乗効果が期待できるものになるよう取り組む必要がある。	
6	シティセールス戦略プランの周知	平成28年に新たに策定した豊川市シティセールス戦略プランに基づく取り組みが、市民、NPO、地域、企業、大学、行政などに浸透するように基本的な考え方を周知し共有していく。	秘書課	継続		・職員への周知を図った。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。	
7	きらっと☆とよかわっ！イベントサポート制度の実施	民間などが開催するイベントなどを支援し、イベントや視察・会議などの活性化とシティセールスの強化を図る。	秘書課	継続		・新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベントが中止となるなど、申請件数は大幅に減少した。
				継続	・サポートの内容について、随時検討する必要がある。	

取組一覧表(2021年度)

8	新たなシティセールスグッズなどの作成	市への愛着を持ってもらうとともに、市内外へ魅力を発信するグッズなどを作成する。	秘書課 市民課 保健センター	継続	・豊川出身絵本作家の壁谷芙扶さんのイラスト入り婚姻届や母子手帳バッグインバッグを作成し配布。
				継続	・配布方法など、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しておく必要がある。 ・デザインや仕様などの変更について、随時検討する必要がある。
9	医療安全川柳の実施	医療安全に関する川柳の募集を行う。	市民病院医療安全管理センター	継続	・医療安全を題材とした川柳を、来院者や入院患者等から募集し、優秀作品を選定し、表彰した。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。

大作戦3 わがまち魅力アップ大作戦

歴史・文化芸術のバリューアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	国分寺、国分尼寺の活用	重要な文化財である国分寺や国分尼寺をわがまちの誇るべき資源とし活用していく。	生涯学習課	継続		・ボランティアガイドによる国分寺や国分尼寺跡の来訪者への説明ガイドを行った。 ・三河国分尼寺跡史跡公園に多くの方が訪れて知っていただくため各種講座を開催した。 ・三河国分寺跡の史跡整備に向けた基礎資料収集を目的とした確認調査を実施した。
				継続		・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全事業を計画どおり実施することはできなかったが、事業内容を変更することで、部分的に実施することができた。
2	歴史的価値のある神社仏閣の物語性を加えたPR	歴史的価値のある神社仏閣の魅力を際立たせて効果的にPRする。	商工観光課	継続		【観光基本計画:「神社仏閣のご利益、由緒、パワースポットの紹介」として継続実施】 ・神社仏閣のご利益、由緒、パワースポットの情報を収集し、パンフレット等に掲載や、それらを問題としてものしり検定を実施するなどのPRを実施した。
				継続		・コロナの影響により計画どおり実施することができなかった。 ・神社仏閣など観光資源と絡めたパワースポットや伝承など歴史的な地域資源の掘り起こしを大河ドラマ「どうする家康」を活用して新たな地域資源を発掘するなど継続して行う必要がある。
3	地域資源をつなぐ街道紹介	街道を切り口として、地域の魅力を組み合わせてつなぎ効果的にPRする。	商工観光課	継続		【観光基本計画:「東海道や姫街道で結ばれた地域との連携」として継続実施】 ・愛知県の主催する街道観光推進協議会へ参画し、PR用ポスターの作成を行った。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・東海道・姫街道を切り口とした連携のため実績のある草津以外の都市での出展を含めた連携の検討と調整を行う。 ・推奨観光ルートウォーキングについて、既存のコースを利用して、引き続き魅力ある内容で開催することが重要である。
4	ミュージアム・ホールを核とした文化のまちづくり	開かれた文化施設を目指し市民の文化の核施設となることで、地域の文化度を向上させる。	文化振興課	継続		・ボランティアの協力を得ながら文化事業を行ない、市民との連携を深めた。 ・地域から支えられるミュージアムとなるように協賛企業の募集を行い、26社29口の申し込みがあった。 ・展示会に関連した講演会や対談、ロビーコンサート、ワークショップなどを開催した。 ・豊川市文化会館、音羽文化ホール、御津文化会館及び小坂井文化会館で、感染予防対策を講じたうえで各分野における質の高い公演を13本実施した。また、子どもから文化芸術に親しんでもらうため、アウトリーチ事業及びワークショップを実施した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。

取組一覧表(2021年度)

5	豊川海軍工廠平和公園の活用	全国的にも数少ない戦争遺跡を保存活用した平和公園について、語り継ぎボランティアの協力を得て運営を行う。	生涯学習課	継続	・ボランティアによる来園者へのガイドなどの活動を実施した。 ・講座や体験会を聴く会などの各種事業を実施した。
				継続	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全事業を計画どおり実施することはできなかったが、事業内容を変更することで、部分的に実施することができた。
6	大橋屋(旧旅籠鯉屋)の活用	江戸時代の旅籠建物である大橋屋(旧旅籠鯉屋)を拠点として周辺の文化財を活用する。	生涯学習課	継続	・赤坂宿ボランティアガイドによる来訪者への案内活動を開始した。 ・赤坂町内会等の協力を得て、東海道を活かしたウォーキングイベントなどを開催した。
				継続	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全事業を計画どおり実施することはできなかったが、事業内容を変更することで、部分的に実施することができた。

スポーツのパワーアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	高校駅伝の支援	全国高等学校駅伝競走大会に出場する高校を支援することにより、「駅伝のまち豊川」を全国に発信する。	スポーツ課	継続		・全国高等学校駅伝競走大会への出場に際して、豊川高等学校男子駅伝部に激励金を交付した。また、同大会での健闘を祈念して、市役所構内広告塔へPR看板を掲示するとともに、市役所ロビーにおいて激励会を開催し、「駅伝のまち豊川」を市内外に広く発信した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。今後も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じたうえでの実施が必要となる。
2	プロバスケットボールチームとのコラボレーション	Bリーグに所属する三遠ネオフェニックスと連携し、「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を推進する。	スポーツ課	継続		・三遠ネオフェニックスの公式ブースタークラブ会員の募集斡旋を行い、バスケットの普及・啓発活動を支援した。 ・小学生交流会や小中学生バスケットボール教室を開催した。 ・小・中学生を対象に観戦チケットを配布し、プロスポーツを観戦する機会を提供した。 ・東三河8市町村との連携協定に基づく「豊川市DAY」を開催し豊川市の魅力をPRするとともにシティセールスを展開した。
				継続		・計画どおりできたと評価する。今後も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じたうえでの実施が必要となる。
3	パブリックビューイングの開設	豊川市に縁のある選手やチームが世界規模・全国規模の大会に出場する際に、大型映像投影装置を使って市民が一丸となって応援する。	スポーツ課、中央図書館	継続		・全国高等学校駅伝競走大会に出場する豊川高等学校男子駅伝部を応援するため、中央図書館内の大型映像投影装置を使ってパブリックビューイングを開催した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。今後も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じたうえでの実施が必要となる。
4	スポーツイベントの開催支援	陸上競技場をはじめ市内体育施設を活かし、スポーツイベントの開催を支援することで元気な豊川市を発信していく。	スポーツ課	継続		・市内外より多くの参加者を予定した豊川リレーマラソン、トヨカワシティマラソン大会を実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。
				継続		・新型コロナウイルス感染症の終息が不透明ななか、安全なイベントを開催するため、感染予防対策を講じたうえでの実施が必要となる。
5	陸上競技場(第3種公認競技場)の有効活用	レベルの高い競技にも対応できるよう改修した陸上競技場を多くの方に使ってもらえるよう施設運営を行う。	スポーツ課	継続		・施設改修を行い、第3種公認競技場として公認を継続し、利用環境の維持を図った。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。今後も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じたうえでの施設利用実施が必要となる。
6	総合型地域スポーツクラブの設立・育成	総合型地域スポーツクラブの質的充実を図るとともに、設立の機運が醸成された際には設立を支援する。	スポーツ課	継続		・市内3地区(音羽、一宮、小坂井)の総合型地域スポーツクラブに対して、活動経費に対する補助金を交付するとともに、会員確保など、活動支援を行った。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。

取組一覧表(2021年度)

7	スポーツ合宿支援事業	スポーツ合宿を行う市外団体を誘致・支援してスポーツを核とした交流人口の拡大につなげる。	スポーツ課	実施(取組開始)	・市内体育施設等の先行予約と宿泊費用の一部助成を行った。
				継続	・計画どおり実施できたと評価する。
8	トップアスリートとの連携	様々な競技のトップレベルの選手等とふれあうことができるイベントを開催する。	スポーツ課	継続	「地方創生に関する包括連携協定」のスポーツ振興に関する事業に基づきソフトボール教室を実施した。陸上競技、水泳の教室を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。
				継続	新型コロナウイルス感染症の終息が不透明ななか、安全なイベントを開催するため、感染予防対策を講じたうえでの実施が必要となる。

祭り・イベントのショウアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	市民まつり(おいでん祭、手筒まつり)の充実	三河弁の「おいでん」を名称に取り入れた親しみやすい「おいでん祭」や、東三河地方に古くから伝わる手筒煙火による「手筒まつり」を開催し、充実させていくことでわがまちの魅力を多くの方に発信していく。	商工観光課	継続	【観光基本計画:「大規模公園の有効活用」として継続実施】 ・新型コロナウイルス感染症拡大により市民まつり「おいでん祭」は中止となった	
				継続	・計画どおり実施できなかった ・2019年度をもって幕を閉じた手筒まつりに代わるイベントを今後実施していくのかどうかを含め引き続き検討をしていくこととなる。	
2	中心市街地活性化イベントの継続的支援	中心市街地に賑わいをもたらすイベントを商店街が自立的に開催できるように継続的に支援する。	都市計画課	継続	・中心市街地商業等活性化推進事業を通じた支援や企画、運営面でのサポートを行った。 豊川地区:いなり楽市、軽トラ市、ほいとも祭 諏訪地区:空き家見学まちあるき ・商店街主催イベントとして自立発展させるため、官公庁への申請・届出の事務手続きに限定して支援を行った。	
				継続	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で複数のイベントが中止となったが、開催されたイベントでは官公庁への申請・届出の事務手続きに限定した支援を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策は、主催者に助言するなど、自立を促す支援を実行できたと評価する。	
3	地域の祭りの情報発信	祭りが豊富なわがまちの特長を活かすため、開催情報をタイムリーに発信し、来訪者数の増加につなげる。	商工観光課	継続	【観光基本計画:「神社仏閣の行事紹介」、「お祭りのスケジュール紹介」、「季節ごとの市内のお祭りの紹介」として継続実施】 ・観光協会と連携してホームページやスポット図鑑、新たに作成した御朱印チラシを活用し、神社仏閣の祭礼等の紹介を行った。	
				継続	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止や神事のみなど限定的な実施となるものがほとんどであったため、開催情報などのタイムリーな紹介をすることはできなかったが、御朱印という新たな方向から紹介をすることができたので、おむね計画どおり実施できたと評価する。	
4	地元製造企業と連携したイベント開催	地元製造企業と連携し、地域の強みであるものづくり産業を身近に感じられるイベントを開く。	商工観光課	継続	【観光基本計画:「工場見学の推進」として継続実施】 ・産業観光として、工場見学などを盛り込んだバスツアーについては、コロナの影響により実施せず	
				継続	・新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった ・工場見学は、セキュリティ、現場における製品の品質、従業員及び見学者の安全の確保を図るための受入体制を企業側が整える必要があり、コストが多額となるため調整が難しい。	

取組一覧表(2021年度)

環境・自然のウェイクアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	市民協働による自然環境の保全	企業や団体等と連携し協働の仕組みづくりを検討するとともに、環境保全に関わる人材育成や団体支援を行い、豊川市の豊かな自然を守る。	環境課	継続		・水質保全、里山保全など環境保全活動を行っている各種団体に対し、継続して支援を行うことができた。 ・環境学習講座を開催して豊川市の自然について学ぶ機会を市民に提供し、啓発を図った。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。
2	山、川、海を観光資源として活用	豊かな自然環境を活かして観光客を呼び込む。	商工観光課、道路河川管理課	継続		【観光基本計画:「自然を活用した観光コンテンツの創出」として継続実施】 ・本宮山・御津山・観音山・宮路山のハイキングマップでPRした。また、東三河総局における東三河スポーツツーリズム推進プロジェクトにおいて、ジャパンエコトラックフレンドエリアとして東三河地域が認定(県内初)され、豊川市は、本宮山登山ルート、豊川歴史探訪サイクリングルートが認定コースとなった【商工観光課】 ・三河湾臨海緑地やマリナについて、ガイドマップなどで紹介した。【商工観光課】 ・佐奈川散策路について、関係機関と調整し、一部整備を行った。【道路河川管理課】
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・既存の山、川、海の観光資源を着地型観光の素材として活用していくような新たな事業展開が必要である。【商工観光課】 ・佐奈川散策路について、整備後の維持管理を地元と調整していく必要がある。【道路河川管理課】
3	アダプトプログラムによる環境美化と緑化推進	市民等が道路や公園などを清掃したり、花の植え替えや植樹をしたりして、愛情を持ってまちをきれいにすることを支援する。	環境課、道路河川管理課、公園緑地課	継続		・アダプトプログラムの啓発を図った。 ・アダプトサイン(看板)を設置したり、ホームページで活動を紹介したりして、広く周知した。 ・県の補助金を活用し、市民団体に花の苗などを配布した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・公園や街路の樹木のほか、社寺林など市街地の民間緑地の保全も図りたい。 ・環境美化だけでなく、緑化推進も図ることができる制度となるよう検討する必要がある。 ・県の補助金制度では、各団体の要望を十分満たせないため、市単独の予算措置が必要である。
4	巨木や名木の愛護啓発	市内の巨木や名木を調査し、愛護啓発や専門家による保全を行い、次代に引き継ぐことでわがまち豊川市の魅力を高める。	環境課、生涯学習課	継続		・環境学習講座において、自然観察会を行い、意識啓発を行った。【環境課】 ・国指定天然記念物「御油のマツ並木」について、樹勢回復を図るとともに補植を行った。【生涯学習課】
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・市民の愛護につなげるため、巨木や名木の効果的なPRを行う必要がある。
5	赤塚山公園の充実	県外からの来園者も多く人気を誇る赤塚山公園を、さらに親しまれる憩いの場としていく。	公園緑地課	継続		・再整備に向けた基本計画を策定した。 ・赤塚山公園の老朽化した設備等について取り替えを行った。 ・利用者ニーズを把握するため、意識調査を実施した。 ・Facebookによる情報提供を行った。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・開園後20年以上が経過しているため、施設の設備等について計画的な改修が必要である。 ・時代のニーズにも対応した施設整備を行う必要がある。

取組一覧表(2021年度)

産業・都市基盤のグロウアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
1	企業誘致による工業振興	豊川市の魅力をアピールし優良な企業を誘致することで、自主財源の確保や雇用の創出を図り、地域を活性化させる。	企業立地推進課	継続		・愛知県と連携した再投資促進補助金や平成27年度に創設した御津1区第2期分譲用地企業立地支援制度や固定資産税相当額を交付する奨励金のほか、進出企業の情報提供報奨制度を用意し、優遇策を充実させ積極的に誘致活動を行った。 ・「メッセナゴヤ2021」及び「国際ロボット展2022」へ出展した。
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・企業1社の御津1区への進出が決定した。 ・愛知県企業庁と連携して分譲中の御津1区への企業誘致を進める必要がある。 ・内陸工業団地を希望する企業のニーズに対応するため、新規工業用地の開発を進める必要がある。
2	まちづくりと連動した商業振興	商店街等が知恵と工夫で賑わいを創出することを支援し、地域に根ざした商業振興を推進する。	商工観光課、都市計画課	継続		・商業団体等事業費補助金(にぎわい創出事業)により、商店街などのにぎわい創出につながる事業(5件)に対し支援を行った。【商工観光課】 ・中心市街地の活性化事業について、商店街との合意形成を図りながら取り組んだ。【都市計画課】 ・市やTMO事業による中心市街地の活性化に資する支援を行った。【都市計画課】
				継続		・計画どおり実施できたと評価する。 ・商業団体等が自立して事業を行えるよう、支援をする必要がある。
3	農産物の普及推進、地産地消による農業振興	豊川産農作物のブランド化・普及推進により知名度を上げ、消費拡大を図ることで、地域農業を活性化させる。	農務課	継続		・こだわり農産物を始めとした豊川産農産物について、販売促進・地産地消の推進を図るため、こだわり農産物タイアップ店を新たに2店舗認定(計16店舗の認定)、ほいとも祭へとよかわ農業市として出展しPR活動をした。 ・予定していた多くのイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により出展できなかった。
				継続		・計画どおり実施できなかった。 ・引き続きこだわり農産物及び取り扱う市内飲食店舗をこだわり農産物タイアップ店として認定し広く周知することで普及促進を図る。
4	大学と連携したまちづくり	大学の知識や人材を活かして、シティセールスの効果があるまちづくりを進める。	企画政策課、都市計画課	継続		・中心市街地の活性化を図るため、大学の研究室と協働で実施してきたまちなか再生検討事業等を実証事業としてまちづくり会社及び地元の商店街と協働で取り組んだ【都市計画課】
				継続		・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で計画どおり実施できなかったが、一部はまちづくり会社及び地元の商店街と協働で実施できたと評価する。 ・今後は、まちなか再生実証事業の内容を、地元へ落とし込むため、まちづくり会社及び地元の商店街と協働しながら実施する。【都市計画課】 ・地域の拠点として大学を活用するなど、時代に合った事業の展開を図っていく。【企画政策課】
5	とよかわ名物の開発	B-1グランプリ後の新たな観光資源になり得る名物を開発する。	商工観光課	継続		【観光基本計画:「豊川いなり寿司に続く新たな豊川ブランドの創出」、「観光協会のとよかわBRANDプロジェクト事業との連携」として継続実施】 ・観光協会のブランドプロジェクト事業との連携及び支援を行い、ブランド品の周知・PRを観光協会と連携して実施した。 ・今年度は新たに2つの農産物(音羽米、いちご)がブランド認定される予定 ・やる気満々商店街等支援事業において「ほいとも祭」等のイベントの支援を実施した。 ・「とよかわブランド」に認定された素材、製品等の販路開拓事業への支援を実施した。
				実施(取組開始)		・計画どおり実施できたと評価する。

取組一覧表(2021年度)

6	各駅周辺の散策マップの作成	平成21年度に作成したマップ「駅からはじまる物語」を活用するとともに、より使いやすいマップの作成を検討する。	商工観光課	継続	【観光基本計画:「鉄道利用と組み合わせたウォーキングコースのPR」として継続実施】 ・東西北地区の駅を活用したウォーキングマップやおでかけスポットナビのパンフレットを観光展などのイベントにて配布したり、それらを活用した推奨観光ウォーキングイベントを開催し、PRを行った。
				継続	・おおむね計画どおり実施できたと評価する。

取組一覧表(2021年度)

番号	取組名	取組概要	主管組織	進捗状況	今年度	今年度実施内容(上段)
					来年度	自己評価・課題(下段)
7	2つの高速道路インターチェンジの優位性をPR	企業誘致やイベント開催などにおいて、交通アクセスの優位性をアピールし、訪れやすいまち、住みよいまちを印象付けていく。	企業立地推進課、商工観光課	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や関西圏で開催された県主催セミナーなどに、本市PRブースを設置し、企業用地パンフレットや豊川市で生産されたバラ等を、来場した企業等に配布し、また用地について問合せのあった企業に対して企業用地パンフレットを郵送し、物流ネットワーク拠点としての本市の優位性を積極的にPRした。【企業立地推進課】 【観光基本計画:「セールスキャラバンの強化」として継続実施】 ・県主催のオンラインでの商談会へ観光協会と連携して参加し、セールス及びPRを実施した。【商工観光課】 ・観光協会のホームページにおいて、インターチェンジから観光地へのアクセスを紹介した。【商工観光課】
				継続		<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・本市においてインターチェンジを基軸とした交通アクセスの優れた新規工業用地の開発を進める必要がある。 【企業立地推進課】 ・バス旅行における走行距離と運転手人員との関係によりバス旅行の範囲及び企画量が減少していることもある。【商工観光課】
8	公共機能が充実した複合商業施設プリオのPR	プリオの利便性を高めるとともに、その魅力を積極的に発信し、中心市街地の賑わい創出につなげる。	子育て支援課、市民課、市民協働国際課、人権交通防犯課、商工観光課、都市計画課、生涯学習課	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターでは、来訪者が手軽に子育て情報などを取得できるように情報提供を行った。【子育て支援課】 ・つどいの広場では、市内外の子育て中の親子が気軽に立ち寄れる場の提供を行った。【子育て支援課】 ・プリオ窓口センターでは、各種証明書などの発行に加えて平成24年4月から旅券の申請・交付を開始し、平成31年4月からは東三河広域連合の事務として広く地域住民の対応を担っている。【市民課】 ・とよかわボランティア・市民活動センタープリオでの市民活動の支援を行った。【市民協働国際課】 ・外国籍の子どもが日本語を学習するこぎつね教室の活動を行った。【市民協働国際課】 ・プリオ市民相談室では、法律相談を始め9種類の相談を受け付けた。【人権交通防犯課】 ・観光協会の事務所において、観光PRを随時実施。【商工観光課】 ・TMO事業などにより、地域活性化のイベント会場として催事場を活用するとともに、壁面広告事業及びネーミングライツ事業を実施し、民間企業との協働を図ることができた。【都市計画課】 ・(一社)とよかわオープンカレッジと連携し、作品展示、講座体験を行う生涯学習成果発表会を開催した。【生涯学習課】
				継続		<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・公共機能の利用者により商業施設の利用拡大につながったと思われるが、継続して魅力あるビルづくりを進める必要がある。 ・観光協会と連携し、プリオを絡めた観光の企画を検討する必要がある。【商工観光課】 ・今年度も事業を継続しつつ、関係機関との連携を図り事業を行う必要がある。【都市計画課】
9	中心市街地安全で安心なおもてなし空間整備	中心市街地豊川地区にポケットパークを整備して、来街者の交通安全性及び回遊性の向上を図る。	都市計画課	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・東三河環状線の交差点改良を実施し、来街者の交通安全性向上を図ることができた。
				継続		<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。